



学校だより 青い鳥

平成29年度12月号
さいたま市立上落合小学校
平成29年12月1日作成

さいたま市中央区上落合4-14-24 TEL 852-5381
http://kamiochiai-e.saitama-city.ed.jp/ E-mail:kamiochiai-e@saitama-city.ed.jp



遊ぶときは早起き

校長 藤澤 太郎

日に日に寒さがまし、いよいよ冬に近づいてきたようです。吐く息が白く、手がかじかんでしびれたようになるのも、久しぶりの感覚です。先月の校内音楽会では、保護者の皆様には多数ご来場いただきありがとうございました。また、運営におきましては、後援会・PTAの皆様にも全面的にご協力をいただきました。ありがとうございました。音楽会を実施して、子どもたちは？というと、「大きな舞台で演奏できることが楽しかった。」というのが感想の大半です。素直に心から思ったことなので、「この気持ちを大切にしていかなければ。」と、学校として音楽会のねらいを再確認したところです。保護者の皆様には、改めて今回のご協力に感謝申し上げます。

さて、大人も子どもも、遠足や何か楽しいイベントの前の晩には、気持ちが高ぶり、なかなか寝付けないものです。「そんなことないよ！」という人を見たことがないので、変に自分をとり繕っていないかぎり、人間の本性なのかなと考えています。これは気分なのか？反応なのか？楽しいこととされる対象が何にせよ、その人が元気になるわけですから悪い話ではなさそうですね。

このことについて、小学生の僕はこんなことを考えていました。それは、遠足など行く前までには、自分の中でそのこと（行事）が完結してしまっているということです。自分にとって遠足や運動会はいつも遊んでいる友だちと同じ日の同じ時刻にやってくるものです。この辺が標準的なランクですが、これがお盆・暮れ（お年とり）・正月は、質的に別格です。親戚と会えることもそうですが、一つの（小遣いの）チャンスということの方が大きかったと記憶しています。また、毎週土曜日は日曜日が休みなので、プチ盛り上がりといったところでしょうか、、、

そしていずれの場合も、いつもの件（くだり）がやってきます。この、ワクワクしている自分を冷静に見ている自分も同じ頭の中に居るわけで、期待が高まった自分に何か言ってやれば良いものを、あえてやり過ぎた結果、やらかしてしまうことが度々でした。つまり、当日熱を出して休んでしまったり、遠足では必ず水筒を壊したりしてしまいます。いわゆる「調子乗っちゃって！」という状態ですね。その後家人にかなりの勢いで怒られますが、家人の真意（自分が楽しめないでしょ？）を理解するまでに何年もかかりました。話が戻りますが、その楽しみ目的を概ね達成しようとする瞬間、今度はやけにつまらない気分におそわれます。遠足から帰ってきて、「あー楽しかった！」という気持ちにはなれなかったようです。記念写真には今一つの表情の自分がいます。羽田空港では、飛行機バックで学級で集合して写っていますが、滅多にないつまらなそうな表情です。東京タワーの集合写真では、展望台まで歩いて登ったこともあり、バテバテで、プラスチックの定規（記念の品らしい。）を握り、ウルトラマンが変身するときのポーズで写っています。

この一連の心の動きを見ると、楽しみ（期待が）が大きすぎて、実際の過程への評価が自分よがりになりがちなのかな？と考えられます。一日楽しいことをしても、「あー楽しかった！」ということになるまでに相当の時間がかかりました。

今頃になって思うことは、「子どもの楽しみは大切にしたい」ということと、「遊ぶときは早起き」が未だに治らないということです。しかし、「家に着くまでが遠足です。」とはよく言ったもので、僕の場合は、「行事の目的をしっかりと持たないと意味のない時間になりますよ！」と誰かがささやいているようではありません。

子どもにとって楽しい時間が多く持てる冬休みが近づいてまいりました。残り3週間、充実した日々が送れるよう願っております。また、冬休みは体調に気を付けられ、ご家族でよい年をお迎えいただきたいと祈念しております。

学校教育目標

あかるく なかよく たくましく